

トビウオ通信 (3月号)

http://www2.pref.shimane.jp/suisi/ (TEL 0855-22-1720)

《平成 14 年島根県漁業の動向》

今月は漁獲管理情報処理システム（TACシステム）により集計した県下主要 13 漁協の漁獲統計資料（属人）から、最近 5 年間の島根県漁業の動向を取りまとめました。漁業種類にもよりますが、島根県の属人統計（農林統計）の約 85% が集計対象となっています。

1 魚種別漁獲量と生産金額

図 1、2 に平成 10 年から 14 年の魚種別の漁獲動向を示しました。漁獲量は平成 10 年から平成 13 年にかけて減少していましたが、平成 14 年は 8 万 3 千トンと僅かながら前年を上回りました。生産金額は平成 11 年以降減少し、平成 14 年は約 170 億円となっています。魚種別に見ると、漁獲割合の高いマアジの漁獲量は、平成 11 年以降、横ばい状況にあります。平成 13 年に大幅に減少したカタクチイワシのほか、サバ類やウルメイワシは増加しています。また、漁獲量ではあまり大きな割合を占めないもののブリ、ケンサキイカ、スルメイカ、ソウハチは生産金額では比較的大きな割合となっています。

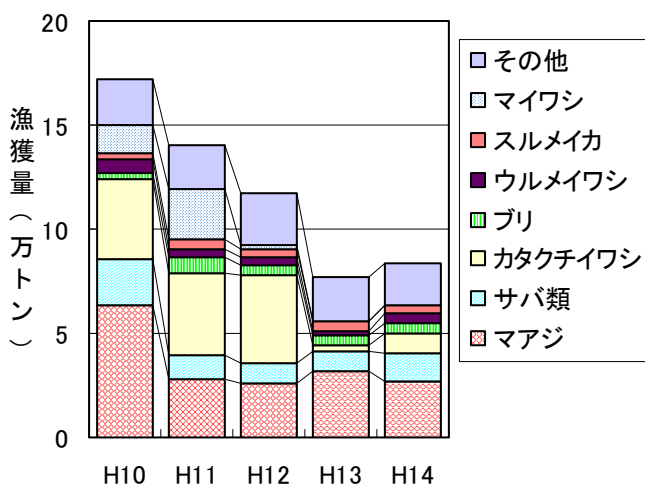


図 1 魚種別漁獲量の推移

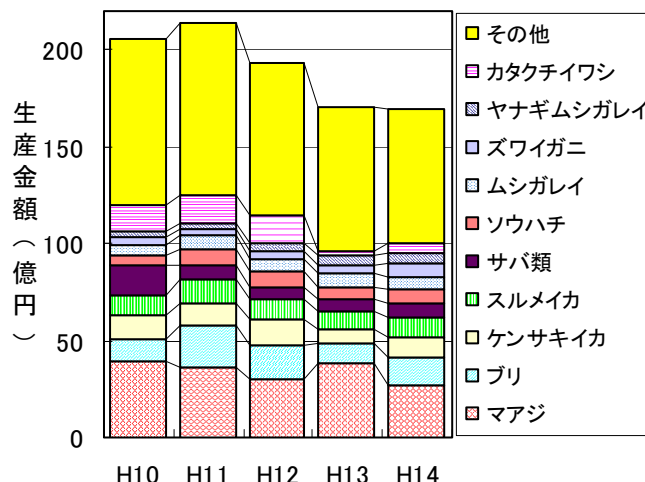


図 2 魚種別生産金額の推移

2 沖合底びき網漁業の動向

図 3 に沖合底びき網漁業（2 そうびき）の魚種別漁獲量の動向を示しました。総漁獲量は平成 11 年以降僅かずつですが上昇傾向にあります。魚種別にはムシガレイ、ソウハチ、ヤナギムシガレイといったカレイ類やスルメイカ、ケンサキイカなどのイカ類が比較的安定して漁獲されています。このほか平成 14 年はマアジの漁獲量が増加し、過去 4 カ年の平均漁獲量の 4 倍の水揚げとなっています。生産金額は約 22 億円～26 億円と比較的安定して推移しています。

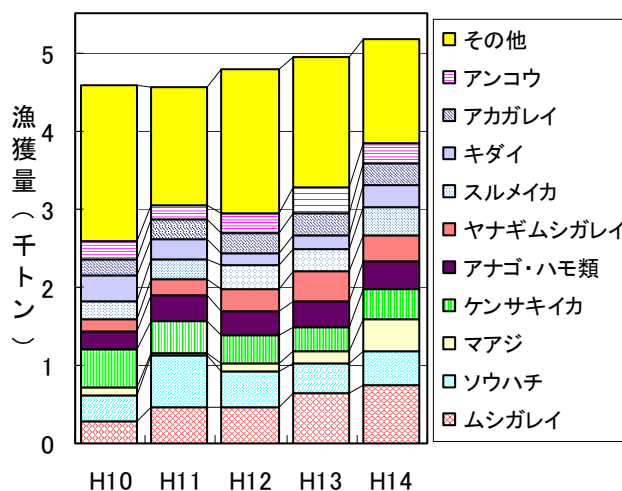


図 3 沖合底びき網の魚種別漁獲量

3 小型底びき網漁業の動向

図4に小型底びき網漁業(かけまわし)の魚種別漁獲量の動向を示しました。平成13年はソウハチの漁獲量が半減したこともあり総漁獲量は大きく減少しましたが、平成14年はキダイ、ケンサキイカなどが増加し僅かながら前年を上回っています。主要魚種のうち、ニギスやアンコウ、ムシガレイは平成12年以降横ばい状況が続いています。生産金額は前年並みの約21億円となっています。

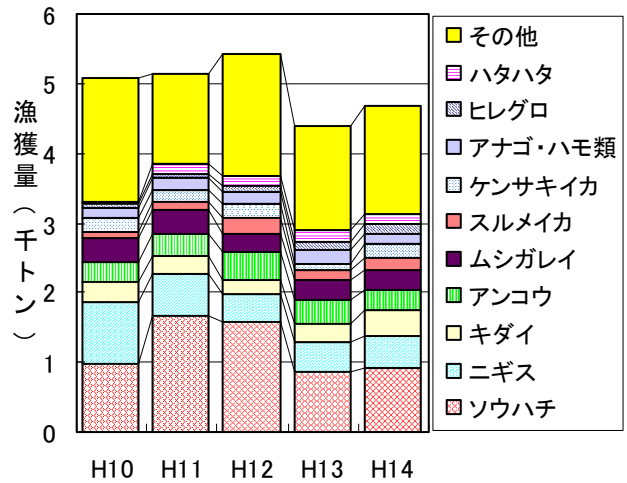


図4 小型底びき網の魚種別漁獲量

4 中型まき網漁業の動向

図5に中型まき網漁業の魚種別漁獲量の動向を示しました。平成10年以降、総漁獲量は減少を続けていましたが、平成14年はサバ類、カタクチイワシ、ウルメイワシ、ブリが増加し僅かながら前年を上回りました。漁獲の4割以上を占めるマアジの漁獲量は前年をやや下回りましたが、平成11年以降ほぼ横ばい状況にあります。生産金額は毎年減少しており、平成14年は前年並みの約50億円となっています。

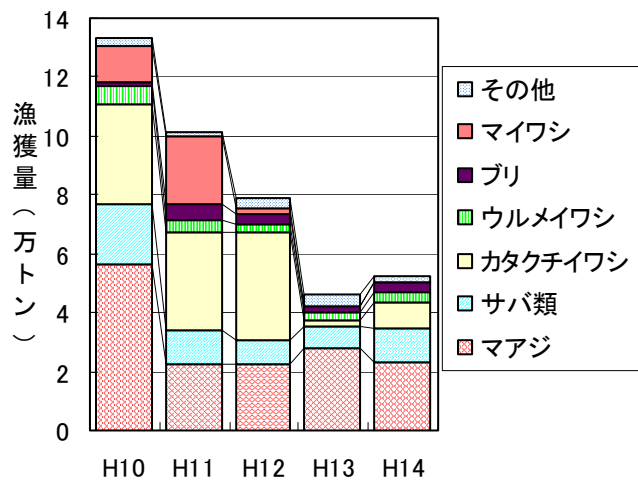


図5 中型まき網の魚種別漁獲量

5 定置網漁業の動向

図6に定置網漁業の魚種別漁獲量の動向を示しました。総漁獲量は平成12年にかけて増加傾向にありましたが、平成13年以降は減少を続け、平成14年は前年の約7割と大きく減少しています。魚種別ではヒラマサ、カタクチイワシが僅かに増加しましたが、マアジ、ブリ、サバ類などの主要魚種は減少しています。生産金額は平成10年の約17.6億円から毎年減少しており、平成14年は約13億円となっています。

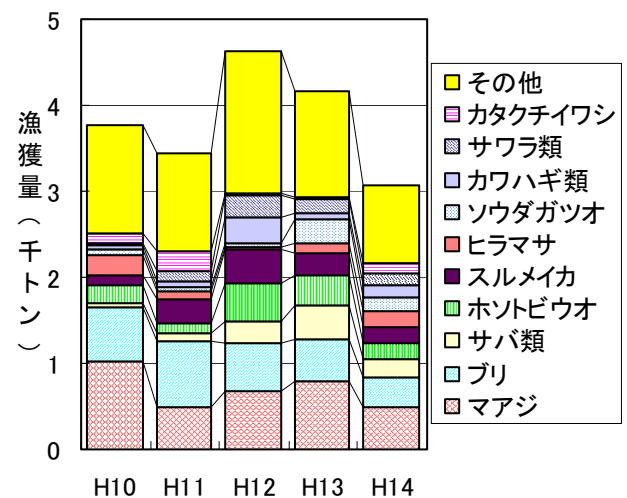
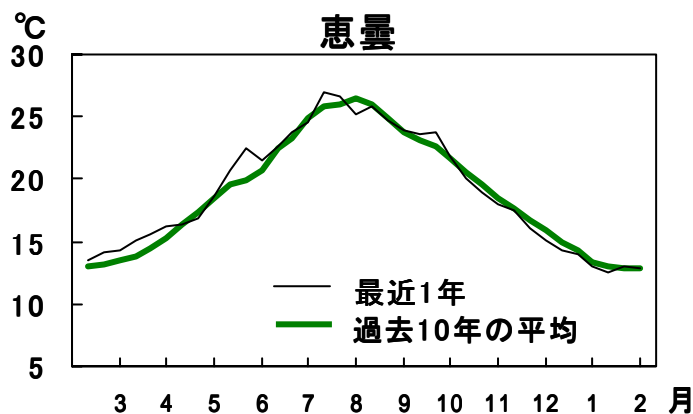
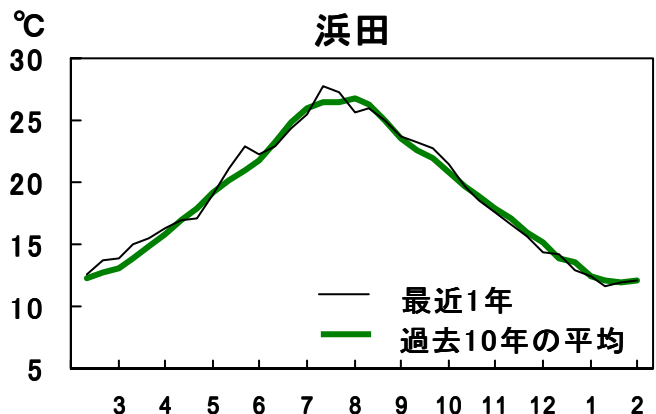


図6 定置網の魚種別漁獲量

《 2月の海況 》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	11.9	-0.1	平年並み
恵曇	12.8	0.0	平年並み

2月の月平均水温は1月に比べ浜田で1.2、恵曇では0.9 下降しました。浜田、恵曇とも「平年並み」の水温経過となりました。



島根県・鳥取県・山口県の各水産試験場が実施した海洋観測結果(2/24～3/12)によると、各層の水温は、表層(0m)が7.1～14.4(平年差は-1.3～+1.6)、中層(50m)が6.5～14.4(平年差は-0.4～+1.6)、底層(100m)が4.5～14.4(平年差は-1.4～+2.8)となっていました。沿岸域の水温は、昨年同時期と比較し1～2 低めとなりました。表層では、隠岐諸島の北西約50マイルに冷水域が見られ、中・底層では浜田の北西約65マイルと、隠岐諸島の北約33マイルに冷水域が確認されました。

山陰沿岸海域の水温は、表層では「やや低め～やや高め」、中層では「平年並み～やや高め」、底層では「やや低め～かなり高め」となっています。

《 2月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田の中型まき網の総漁獲量はサバ類、マアジ主体に1,248トン、総水揚金額は7,965万円でした。1統当りの漁獲量は312トンで、平年(過去5ヵ年平均)の122%、前年の3倍となりました。水揚金額は1,990万円で、平年の173%、前年の3倍でした。西郷では、カタクチイワシ、サバ類、マアジ主体に総漁獲量4,637トン、総水揚金額は1億5,490万円でした。1統当りの漁獲量は662トンで、平年の104%、前年の6.8倍となりました。水揚金額は2,200万円で平年の72%、前年の2倍となりました。浦郷ではカタクチイワシ、マアジ、サバ類主体に総漁獲量1,999トン、総水揚金額は6,240万円でした。1統当りの漁獲量は500トンで、平年の1.8倍、前年の8倍となりました。水揚金額は1,560万円で平年の102%、前年の3倍となりました。東部海域を中心にカタクチイワシが好調となりました。

【イカ釣漁業】

浜田港に水揚げするイカ釣船(5トン以上)の漁獲量は、スルメイカを中心に169トンで、平年(過去5ヵ年平均)の81%、前年の35%で、豊漁だった前年を大きく下回りました。一方、西郷のイカ釣船(5トン以上)の漁獲量は、スルメイカを中心に27.6トンで、平年および前年並みとなりました。浜田に水揚げされたスルメイカは20～25入りが主体となっています。

【沖合底びき網漁業】

浜田港の総漁獲量は481トン、総水揚金額は1億6,744万円、1統当たり漁獲量は68.7トン(前年比116%、平年比126%)、水揚金額は2,392万円(前年比104%、平年比102%)でした。漁獲の中心はマフグ(前年比392%)、ケンサキイカ(前年比198%)でした。

恵曇港の総漁獲量は199トン、総水揚金額は1億854万円、1統当たり漁獲量は49.8トン（前年比87%、平年比46%）、水揚金額は2,714万円（前年比91%、平年比108%）でした。漁獲の中心はアカガレイ（前年比71%）、ソウハチ（前年比139%）でした。

【小型底びき網漁業】

和江、大田市漁協では出漁日数が前年より1割程度増加したため、量・金額ともに前年を約2～5割上回りました。また、1日1隻当たりの量・金額も前年を2～3割上回り、好調に推移しました。漁獲の主体はソウハチですが、和江漁協ではヒレグロ、ニギス、ハタハタが、大田市漁協ではハタハタ、アンコウ、ヒレグロがまとまって漁獲されています。特にハタハタは小型ながら好調に推移しており、春漁が期待されます。

【定量網漁業】

県東部では前年および平年並みの漁獲量でしたが、水揚金額は前年および平年を下回りました。県西部では漁獲量・水揚金額ともに前年および平年を大きく下回っています。隠岐地区では漁獲量は前年をやや上回り、水揚金額も前年並みでしたが、平年の漁獲量、水揚金額を下回りました。県東部ではカタクチイワシを主体に、マアジ、スルメイカ、ブリ、ヤリイカ、マイワシが漁獲されています。カタクチイワシ、ヤリイカは前年の約3倍の漁獲量で、マイワシは平成11年以降ではまとまった水揚げ（約2トン）となりました。県西部ではマアジ、ヤリイカが主体となっています。隠岐地区ではスルメイカを主体に、ヤリイカ、マアジ、メダイが漁獲されています。ヤリイカは前年の約2倍、メダイは前年の約20倍の漁獲量となっています。

【釣・縄】

県東部では前年および平年の漁獲量を下回りましたが、水揚金額は前年並みとなっています。県西部では漁獲量、水揚金額とも前年および平年を上回っています。隠岐では前年並みの漁獲量・水揚金額で、平年の漁獲量・水揚金額を上回りました。県東部ではヤリイカが前年の約3倍の漁獲量があり、漁獲量全体の3割以上を占めています。その他ではヒラマサ、メダイ、ブリなどが漁獲されています。県西部はメダイ、ヒラマサ、ブリ、アマダイが主体となっており、ヒラマサは前年の約8倍の漁獲量となっています。隠岐ではメダイ、スルメイカが主体で、メダイは前年の約3倍の漁獲量となっていますが、スルメイカは前年の約1/2の漁獲量となっています。その他ではヤリイカが前年の約10倍の漁獲量となっています。

漁獲統計

平成 15年2月1日～28日

漁業種類	水揚港	延隻数 ・統数	主要魚種	1隻(統)1航 海当漁獲量	総漁獲量
中型まき網	浜田	30	サバ類・マアジ	41.5ト	1,248ト
	西郷	57	カタクチイワシ・サバ類	81.4ト	4,637ト
	浦郷	38	カタクチイワシ・マアジ・サバ類	52.6ト	1,999ト
イカ釣り (5トン以上)	浜田	253	スルメイカ	668kg	169ト
	西郷	102	スルメイカ	270kg	27.6ト
沖底	浜田	32	マフグ・ケンサキイカ	15.0ト	481ト
	恵曇	31	アカガレイ・ソウハチ	6.4ト	199ト
小底	和江	466	ソウハチ	805kg	375ト
	大田市	323	ソウハチ	610kg	197ト
定量網	浜田	7	マアジ・ヤリイカ	104.4kg	0.7ト
	美保関	100	カタクチイワシ・マアジ・スルメイカ	359.8kg	35.9ト
	浦郷	102	スルメイカ・ヤリイカ・メダイ	705.7kg	71.9ト
釣・縄	浜田	938	メダイ・ブリ・ヒラマサ	27.6kg	25.9ト
	五十猛	365	カサゴ、メバル類・ヒラマサ・メダイ	23.9kg	8.7ト

1隻(統)1航海当漁獲量は総漁獲量/延隻数・統数で算出しており四捨五入した値です。

定量網(浜田)は1ヶ統のデータ。